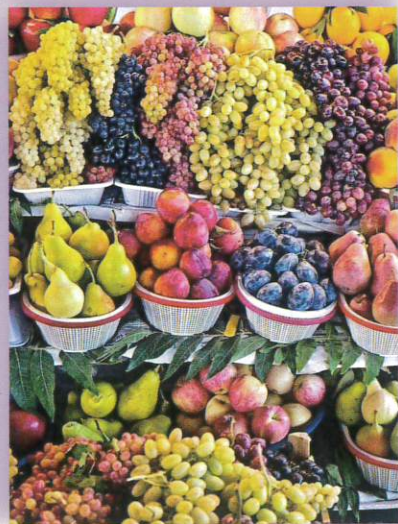
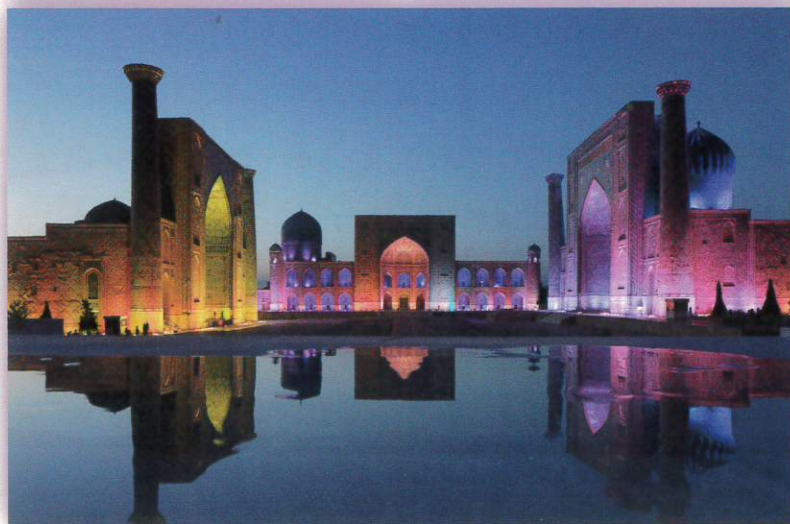


2023年3月
(March)
第32号

フレンドシップス

FRIENDSHIPS



サマルカンド市の風景

奈良市国際交流協会

ご挨拶

奈良市国際交流協会名誉会長

奈良市長 仲川 げん



陽春の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、奈良市の市政運営並びに国際交流事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は各国でウィズコロナに向けた取り組みが模索され、世界は新たな段階へと動き始めました。そのような中、奈良市も久しぶりに海外の都市と対面での交流を行いました。

まず、昨年6月に、韓国の徐鎬大慶州市議会議長・李相杰慶州商工会議所会長一行が4年ぶりに本市を訪問してくださり、奈良市特別名誉市民章を受章されました。

また、10月18日にウズベキスタン共和国のサマルカンド市を訪問し、姉妹都市提携を結びました。これで海外の友好姉妹都市は全部で7市(慶州市、トレド市、西安市、ベルサイユ市、キャンベラ市、揚州市、サマルカンド市)となりました。古代シルクロード交流の再開が、奈良市とサマルカンド市の両市にさらなる平和と繁栄をもたらしてくれることを願っております。

さらに11月には、姉妹都市提携50周年を迎えたスペインのトレド市を訪問しました。異なる宗教・民族が共生するトレドの歴史に触れ、奈良が、お互いの個性や文化を尊重し合うことができる国際文化観光都市として成長していくべきとの思いを、改めて強くしました。

そして本年度は、オーストラリアのキャンベラとの姉妹都市提携30周年及び中国の西安市との友好都市提携50周年の節目を迎えます。長きにわたり、文化・スポーツ・教育などの様々な分野で多くの市民が行き交い、友好と親善を深めてまいりましたが、培った友情の絆を次の世代に引き継いでいけるよう、様々な周年イベントを開催し、さらなる交流の輪の拡大に努めて参りたいと考えております。

会員の皆様方におかれましては、引き続き、ご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに会員の皆様のご健康とご多幸を祈念し、ご挨拶といたします。

奈良市国際交流協会会員の皆さまへ

奈良市国際交流協会

会長 河野 良文



花のつぼみの膨らみにも春色の深まりが感じられるこのごろ、会員の皆様におかれましては
いかがお過ごしでしょうか。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対処が進み、世の中は日常生活や様々な社会活動
の正常化に向けて大きく前進しました。国際観光都市である奈良市にも再び多くの外国の方が
訪れるようになり、街は少しずつ以前の活気を取り戻しつつあります。規模を縮小して開催され
ていた会員の皆様の国際交流活動も、一日も早く、元の規模で開催できるようになることを
願っております。多様で豊かな社会の実現をめざし、交流活動を続けられている会員の皆様の
熱意に、心からの敬意と感謝の意を表します。

当協会が2021年に立ち上げた「奈良市国際交流出前講座」(奈良ロータリークラブ協賛、
奈良市後援)は、留学生が市内の小中学校を訪問し、外国の文化を紹介するという事業で、初
年度には講座の半分をオンラインで開催いたしました。2年目を迎えた昨年は、実施した11
校において、すべて対面で開催することができました。コロナ禍で多くの制限がかかった学校生
活を送っている子どもたちにとって、この出前講座は、直接外国の文化に触れる特別な経験と
なったことでしょう。本事業を通して、外国の文化を体験した子どもたちが、外の世界に興味を
持ち、どんどん出かけて行って世界の舞台で活躍してくれることを期待しています。そして将
来、奈良をさらに開かれた国際文化観光都市へと牽引していってくれるものと信じております。

当協会の事業が、世界の様々な問題を解決するための小さな一歩になることを信じて、私た
ちは平和への国際交流を目指し、海外と奈良市の皆様を結ぶ「交流の架け橋」となるよう努め
て参ります。

結びに、今後も引き続き、会員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますと
ともに、皆様のご健康とご多幸を祈念してご挨拶といたします。

NaFu! 国際交流Oneday Summer camp 2022

日時:2022年7月17日(日) 場所:奈良市中部公民館

「NaFu!国際交流 Summer Camp」は、これまで国立曽爾青少年自然の家にて1泊2日で実施してきましたが、2020年、2021年は新型コロナウイルスの影響で中止、そして2022年は安全を第一とし、宿泊を伴わない日帰りのイベントとして、感染対策を徹底して開催しました。

今回は、8ヶ国19人(ブラジル、カンボジア、スウェーデン、モンゴル、ミャンマー、中国、スリランカ、スペイン)の外国人留学生と、小学5年生から70歳代まで幅広い日本人が参加しました。参加者の英語や日本語でのプレゼンテーションは素晴らしいものでした。この他にも奈良公園English観光ガイド&クイズ、書道&うちわ作り、ウクライナのお話など、盛り沢山の内容で、有意義な国際交流の1日となりました。

「寄稿者:NPO法人 国際交流ならふれあいの会 野原 純子」



参加者たち



プレゼンテーションの様子

NaFu! 国際チャリティーコンサート

日時:2022年10月15日(土) 場所:奈良公園バスターミナルレクチャーホール

スリランカに井戸を贈ることを目的としたチャリティーコンサートを今年も開催することができました。フルーティスト野原剛氏、バンドネオン松浦伸吾氏、ギター大西洋二郎氏の三人が奏でる美しいクラシック音楽を、多くの県民・市民の方に楽しく体感してもらうことができました。

そしてスリランカ人NAYANA PERERAさんに、水に困窮するスリランカの実情を説明していただき、観客の皆様にも井戸を贈るための募金を呼びかけました。

また、今回のコンサートに奈良県の視覚障害者の方々を招待したところ、7名のご参加がありました。

会場では、観客全員に検温とアルコール消毒にご協力いただき、参加者名簿も作成いたしました。また、間隔を開けての着席や、時間差退場、終始マスクの着用などを呼びかけ、新型コロナウイルス感染対策を徹底して開催しました。

「寄稿者:NPO法人 国際交流ならふれあいの会 野原 純子」



三人の出演者による演奏の様子



出演者紹介の様子

第11回大安寺国際縁日 ～世界の安寧と人々の幸福を願うコンサート～

日時:2022年11月3日(祝) 場所:大安寺

2022年11月3日に第11回大安寺国際縁日が大安寺にて開催されました。

奈良時代、大安寺は官立寺院として様々な役割を担う場で、その役割の一つが悪病難病封じです。現在の悪病難病の最たるがん封じの寺として信仰を集めてきました。

今回の大安寺国際縁日は第一部として健康について大安寺河野貫主と南和病院三馬病院長との対談と、「世界の安寧と人々の幸福を願うコンサート」として各国の音楽を「獅子吼殿ホールひびき」で行いました。第二部では境内に舞台を設け、留学生の歌や踊り、地元中学生のギター・マンドリン演奏、高校生の英語劇、米国人の尺八演奏、障がい者の太鼓演奏など8組の演目を行いました。また、囲碁教室やドイツボードゲームなど、文化体験コーナーも設け、11店の地元のお店の出店もあり、大いに盛り上がりました。演奏の合間には高校生と留学生の交流もあり、国際親善に寄与したと思っています。

コロナ禍のため、お店の数や留学生の屋台など一部実施できませんでしたが、約900名の参加者と好天に恵まれ大成功でした。次年度は正常な形にして、国際交流に貢献していきたいと考えています。

「寄稿者:NARA STAG CLUB理事 田中 栄一」



にぎやかな店の前



観客席風景



留学生の歌と踊り



交流する高校生と留学生



米国人虚無僧による尺八演奏

第22回日中友好・日本語スピーチコンテスト

日時: 2022年7月30日(土) 場所: 奈良市中部公民館

日中友好・日本語スピーチコンテストへの思い

奈良中国帰国者支援交流会は奈良市日本中国友好協会主催「日本語スピーチコンテスト」の後援をさせていただいておりますが、この催しに毎回参加をして思うことは、出演される中国の方々の日本語が素晴らしいということです。スピーチされる中国の方たちは発声が素晴らしく、ただただ感嘆するばかりです。

奈良中国帰国者支援交流会は中国帰国者の日本語教室開催事業業務委託を奈良県から受けて開催しておりますが、ここに通う中国帰国者の生徒たちは、授業が終わると、「じゃあ、また来週!」「今日はありがとう、楽しかったよ」とハイタッチして元気に帰って行きます。中には、「先生、今日のは難しすぎたで」「今日のはイマイチやったで」と憎まれ口を言いながら帰って行く生徒もいますが、皆さん真面目に通って一生懸命勉強しています。私たちは、この生徒たちの希望である「日本人として普通の生活を送りたい」という気持ちを大切にしながら教室を開催しております。

このスピーチコンテストでは、私たちの教室で行った作文学習の成果を発表する時間をいただいております。発表者はもちろん、生徒仲間、家族、友人と大いに盛り上がるひと時があります。私たちの生徒たちもいろいろ工夫をして、素晴らしいスピーチコンテスト出演者の方たちに少しでも近づくことができればと思います。

このような日中交流も兼ねた催しに、どうぞ市民の皆さまもご参加と応援をよろしく願いたします。「寄稿者:奈良中国帰国者支援交流会 会長 関 道代」



審査発表を待つ参加者

日印国交樹立70周年 北インド古典音楽 午後のラーガの調べ

日時: 2022年5月28日(土) 場所: 秋篠音楽堂

日印国交樹立70周年記念事業を多くの方に知っていただくために、入場無料のコンサートを開催いたしました。演奏が始まる前に、開会式が行われ、在大阪・神戸インド総領事館総領事のニキレーシュ・ギリ様、奈良県知事の荒井正吾様のご挨拶があり、インドと奈良の友好的な文化交流の益々の発展を祈念されました。

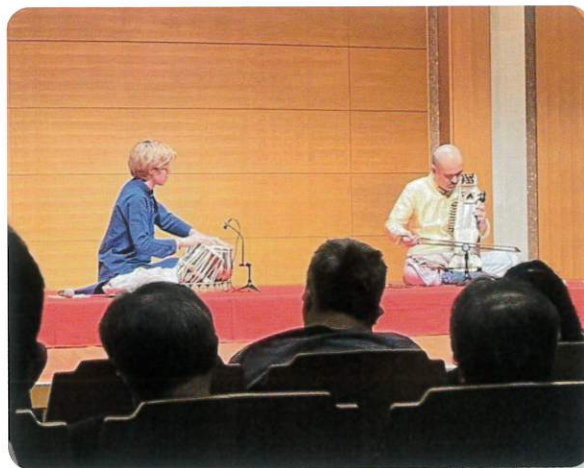
コンサートでは、ナカガワユウジさんのサーランギー、ハヤシレオさんのタブラによる北インド古典音楽の演奏が行われました。秋篠音楽堂内にサーランギーとタブラの静かな音色と躍動的なリズムが心地よく響き、聴衆を包み込みました。

ロビーでは、市内のインド料理店などによるインド菓子の紹介や販売が行われ、お客様は甘いお菓子とインド音楽を楽しまれました。

普段は耳にする機会が少ない北インド古典音楽や、インドの食文化に触れて、インドの文化芸術を知っていただく貴重な機会となり、日印文化交流の一助となったと思います。

本事業に、ご協力いただきました在大阪・神戸インド総領事館をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

「寄稿者: NPO法人奈良芸能文化協会専務理事 吉川 朋子」



舞台での演奏の様子

日本・インドネシア秋の集い

日時：2022年11月19日（土） 場所：仏像ギャラリー飛鳥園

2022年11月19日（土）、「日本・インドネシア秋の集い」を開催しました。新型コロナウイルスの影響で3年間の休止が続いていただけに、今回の開催は我々にとっても大きな喜びでした。インドネシアの留学生を11人招待しての開催でした。交流場面としては次の三つの場面を計画しました。

一つは「インドネシアにおけるダム建設の回顧写真展」でした。当協会の小林芳文会員が若い頃バンドンに駐在しダム建設に関わった時の記録写真について解説する中で、興味深い話や苦労話を聞くことができました。二つ目は「ハーモニカ演奏」でした。当協会の岩本洋之会員がインドネシアの各地方で歌い継がれてきている歌をハーモニカで演奏し、それに合わせインドネシアの歌を歌いました。最後には「参加者全員によるアングルンの演奏体験」を楽しみました。参加者からは、「バラエティーに富んだ内容で良かった」との感想が寄せられました（アングルンというのは竹製のインドネシアの伝統楽器）。会場は、オーナーのご厚意により「仏像写真ギャラリー飛鳥園」（奈良公園の一角にある）の庭園を使用させて頂きました。深まりゆく奈良の秋を存分に楽しみながらの意義ある集いとなりました。

【寄稿者：日本インドネシア友好協会奈良会長 小谷 勝彦】



全員によるアングルン演奏体験を楽しみました



ハーモニカ演奏に合わせてインドネシアの歌を歌いました

モンゴル部会活動休止のご報告

モンゴル部会は、会員の高齢化及び後継者問題で活動を継続する事が困難になり、2023年3月31日をもっていったん活動を休止する事になりました。協会のご支援と会員の皆様のご協力により、22年間にわたり国際交流の一端を担って楽しく充実した活動をさせて頂きました事を心から感謝申し上げます。

当初、平城遷都祭で実施しましたバザー等のイベント収益金は、2023年1月26日に大阪モンゴル総領事館ソロンゴ領事を通じて、モンゴルの子供たちの放課後の学童保育施設Magicboxに贈呈いたしました事をご報告させていただきます。

【寄稿者：モンゴル部会長 上田 トクエ】



モンゴル総領事館での贈呈式

ウズベキスタン共和国サマルカンド市と姉妹都市提携

2022年10月18日に、仲川げん市長、北良晃奈良市議会議長を含む計6名による奈良市訪問団がサマルカンド市を訪問し、仲川市長とファスリディン・ウマロフ サマルカンド市長との間で姉妹都市提携についての盟約宣言書と協定書の署名が取り交わされました。

提携式後に、仲川市長は「100年単位の交流の歴史を新たに築いていきたい」と挨拶、これに応じてウマロフ市長が「今回の姉妹都市提携をきっかけに両市の間で様々な新しい取り組みを進めるためにできる限りのことをしたい」と挨拶しました。

訪問団は滞在中、昨年3月にオープンしたサマルカンド空港やシルクロード国際観光文化遺産大学、職業訓練校などを視察しました。

サマルカンドはウズベキスタンの歴史都市であり、シルクロードの要衝地として栄えたオアシス都市です。悠久の歴史を背景に、シルクロードでつながる両市の交流が、再び始まります。 [寄稿者:奈良市]



署名後の記念撮影に応じる両市長



空港視察の際に最高執行責任者から説明を受ける訪問団



本を開いたようなデザインのサマルカンド空港の外観

仲川奈良市長一行がスペインのトレド市を訪問

2022年11月7日に、仲川奈良市長一行が、姉妹都市提携50周年を迎えたスペインのトレド市を訪問しました。トレド市役所で行われたミラグロス・トロン市長との会談では、2025年の大阪・関西万博に向けての意見が交わされ、また、これからも両市が市民交流の推進に取り組んでいくことを確認しました。

翌11月8日には、地元の小学校「コレヒオ・ナラ」を訪問しました。「コレヒオ」は学園という意味のスペイン語で、「コレヒオ・ナラ」を日本語に訳すと「奈良学園」という意味になります。奈良市との姉妹都市10周年を記念して付けられた名前で、奈良市の小学校とこれまで様々な交流を行ってきました。訪問団は多くの生徒たちから熱烈的な歓迎を受けました。 [寄稿者:奈良市]



会談するミラグロス・トロン市長と仲川市長



コレヒオ・ナラでの記念撮影